光洋電機株式会社
Koyo Electronics Co., Ltd

会社方針 豊かな技術で豊かな価値を生み、自社に関わる全ての人々を豊かにする

環境（E）

マテリアリティ：再生可能エネルギーの利活用 / 廃棄物削減とリサイクルの推進

取り組み
- 再生可能エネルギー由来の電力の購入
- 屋根・遊休地などを最大限活用し、太陽光パネルを追加設置
- 2030年までにハイブリッド車を5台、EV車を1台導入予定

目標	短期	中長期
再生可能エネルギー比率（対電力使用量）【2025年度比】	+5%	+10%

目標	短期	中長期
廃棄物総排出量【2023年度比(売上比率)】	▴10%	▴30%
リサイクル率（再資源化率）【2023年度比】	+20%	+35%

取り組み
- 社員教育・啓発活動（朝礼等で実施）
- 産業廃棄物排出量の見える化（デジタル管理）
- 廃棄物の細分化分別の継続
- プラスチック・梱包資材のリユースの継続、ペーパーレス化強化
- リサイクル率の向上（リサイクル業者との連携強化、再資源化比率のモニタリング）

社会（S）

マテリアリティ：従業員の健康・安全の確保 / 顧客満足度の向上

取り組み
- 労働安全衛生マネジメント（安全パトロール・ヒヤリハット活動の強化）
- 安全教育（交通安全）
- 年1回の健康診断およびストレスチェックの実施
- ノー残業デー（毎週水曜日）や有給休暇取得促進の継続

目標	短期	中長期
労働災害発生件数	0件	0件
年間ストレスチェック受診率	100%	100%
有給休暇取得率	100%	100%

目標	短期	中長期
納期遵守率【2025年度比】	100%	100%
品質クレーム削減率【前期比】	0%	30%

取り組み
- 納期遵守率・品質クレーム低減の数値目標化（目標のみ開示）
- クレーム分析と改善サイクルの確立
- コミュニケーション強化（定期的な顧客訪問・積極的なVE,VA提案活動）
- 内部監査による品質チェックの実施と年1回の見直し

ガバナンス（G）

マテリアリティ：リスク管理体制の構築・強化 / 情報開示と説明責任

取り組み
- BCP（事業継続計画）の見直し
- ハラスメント・コンプライアンス研修の部門長以上受講

目標	短期	中長期
災害等による事業停止日数	3日	2日
ハラスメント・コンプライアンス研修実施数（年）	1回	2回

目標	短期	中長期
非財務情報の開示項目数	5点	8点
従業員説明会開催数（年）	1回	1回

取り組み
- 非財務情報の洗い出しと未策定項目の検討
- 毎期決算報告会の継続実施

社会課題の解決 と 持続可能な経営 の実現

短期 おおむね1年以内
中長期 おおむね3～5年以内

© Hamagin Research Institute. All rights reserved.